

令和7年度 麻布幼稚園学校評価
学校関係者評価結果報告書

令和8年2月4日 港区立麻布幼稚園

令和8年2月4日
港区立麻布幼稚園
園長 佐藤 幸子

令和7年度 麻布幼稚園学校評価報告書

【学校評価の方法と経緯】

保護者、幼児、学校運営協議会委員、教職員にアンケートを実施しました。

〈各アンケート回答率〉

保護者	81.0% (在園児数63名に対して51名の回答)
幼児	81.0% (在園児数63名に対して51名の回答)
学校運営協議会	64.7% (運営協議会委員17名に対して11名の回答)
教職員	100% (正規教員6名に対して6名の回答)

アンケートの結果を基に、自己評価を行いました。

【学校評価の各項目】

〈幼稚園運営〉

- 保護者アンケートでは、6項目中、2つの項目については、A（当てはまる）B（ややあてはまる）の合計が100%でした。概ねご理解をいただいているものと感じております。
- （3）につきましては、A、B合わせて84.3%、PTA活動につきましては、係の仕事としていたことを保護者ボランティアの協力を得るなど、保護者の方と協力して計画・運営し、楽しい充実した活動となるように改善してまいります。
- （4）につきましては、A、B合わせて88.2%で、園外に出かける機会がなくなったというご意見もありました。今年度屋上に花壇を新設しましたので、園内でサツマイモの収穫ができるようになりました。園内の環境も生かしながら、芝公園などの自然に触れる機会や、麻布台ヒルズの新しい公園の活用など園外へ出かける機会も引き続き大切にしていきます。また、変更点につきましては、丁寧な説明を心がけてまいります。さらに、幼児アンケートで低めであった絵本が好きという点も考慮し、読み聞かせをはじめとした保護者や地域の方の得意なことを生かしてボランティアとして参画していただく機会を設けていこうと考えております。
- （5）の小学校、中学校、保育園との交流や施設の活用についてはA、B合わせて72.6%ということでした。小学校との交流は3学期に計画されていますが、保育園との交流は夏から7月末より10月末まで幼稚園の大規模改修工事もあり、できませんでした。今後は、保幼小合同研修会や六本木アカデミーなどの関係の中で計画的に交流していきたいと思っております。
- （6）については、預かり保育の利用も多くニーズが高いところです。来年度からは長期休業中も各園で預かり保育が行われます。預かり保育の時間を柔軟にしてほしいというご意見もありますので安全面など踏まえて柔軟に検討していきます。

〈教育内容・指導〉

- 8項目中7項目で、A、B合わせて96.1%以上であり、概ね教育内容・指導への評価をいただいているものと受け止めています。（14）園内研究会や研修につきましては、保護者の皆様にご理解いただけるように、園だより、学級だよりなどでお伝えする機会をつくってまいります。

〈安心・安全〉

○3項目全てについて、A、B合わせて100%であります。2学期の中頃までは怪我也多く、教職員で安全に関するルールの確認徹底を行ってきました。その結果、怪我也減り、安心・安全な園の施設の維持、安全教育へのご理解をいただいているものと受け止めています。

正門、通用門、玄関のオートロックの確実な施錠、保護者・来園者のネームプレートの着用と確認を確実に継続していきます。

毎月1回の避難訓練では、地震、火災、不審者対応、Jアラートといった危機を想定した避難訓練を実施しています。

また、安全点検、安全指導で、危険箇所がないかを確認し、安全な環境を保っています。安全指導につきましては、お子さんに指導したことを保護者の方にもお伝えしておりますので、ご家庭でも引き続き話題にさせていただき、安全に過ごせるようにしていきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。その他、教職員の研修として、不審者対応訓練、アレルギー（エピペン）研修、AED研修を実施しています。今後も、より実際の事態を想定した備えや訓練を実施し、非常事態に備えます。

感染症については皆さまへの周知徹底と、感染防止のための手洗いの励行、清掃の徹底を行ってきました。引き続き心がけて参ります。

〈その他〉

○(18)については、A、B合わせて98.1%以上でした。保護者の方からは行事予定を早めに知らせてほしいというご意見もいただいております。年度当初には年間予定お渡ししておりますが、変更もあるので、園だよりの行事予定を早くお知らせできるようにしていきたいと思っております。学校運営協議委員の方々からはEの評価をいただいた項目もありますので、ホームページや園だよりのお知らせ等で分かりやすく発信していきたいと思っております。引き続き、保護者、地域の方々と協力して園運営していきたいと思っております。

○(19)では、A、B合わせて95.9%以上でした。今年度幼稚園における国際理解教育の推進として、自国文化に親しむ取り組み、他国の文化に興味・関心をもつ工夫をしてきたことに対するご理解をいただいているものと受け止めています。引き続き、地域・保護者の皆様にご協力いただくと共に、区の予算を活用し講師を招聘し、お茶会、七夕や餅つきといった伝統的な季節の行事、礼法教室、親子論語の会、保護者に話をしてもらう会などを積極的に実施していきます。

幼稚園ネイティブティーチャーは、今年度から12月のお楽しみ会やワンデートラベルデー等で複数配置され、幼児も活動を通して英語に親しむことができました。日常的に幼児が幼稚園ネイティブティーチャーに親しみをもち、簡単な英語で関わったり、英語の歌を口ずさんだりする姿が見られ、保護者からも肯定的に受けとめられています。引き続き、ネイティブティーチャーとの関りが楽しめるように教材や活動を探ってまいります。

○(20)についてはA、B合わせて75.5%となっております。英語以外の在園児の国の文化に触れる機会をつくっていくことも大切にしていきたいと考えます

また、様々な国の方々が安心して園生活を送れるように区のサービスを活用して参ります。

○(7)につきましてはC評価も13.7%でした。保護者皆様のご協力もいただきながら自分のできる喜びが感じられるようにしていきます。

令和8年度の基本方針（案）

港区学校教育推進計画 後期計画で取組強化をする「7つ」の事業

- 国際理解教育の充実
- ICTを活用した学びの充実
- 基礎学力・活用力の習得
- いじめ防止推進事業の充実
- 健康な体づくり
- 環境教育の充実
- 教員の働き方改革の推進

※太字は、港区立幼稚園、小学校、中学校が令和8年度 特にと組強化する3事業

令和8年度 麻布幼稚園 では

- 幼児期からの国際理解教育を進めます。
 - ・日本の文化に親しみ、他国の文化に興味や関心をもつ幼児を育てます。
 - ・幼稚園ネイティブティーチャーと関わる楽しさを感じ、英語に親しみ、多様な人と関わるのが楽しいと感じる幼児を育てます。
 - ・在園児の国の文化に触れる機会をもてるようにします。
- 基礎学力・活用力の習得につながる力を育てます。
 - ・基本的な生活習慣を身に付くようにし、健康な体をつくり、進んで体を動かして遊ぶ幼児、粘り強く取り組む幼児を育てます。
 - ・様々な運動遊びを通してバランス感覚や体感覚を育み、健康で安全に過ごせるようにしていきます。
 - ・自分の思いを表現することも大切ですが、相手の思いを聞きいたり、友達の考えを受け止めたりして、自分なりに気持ちをコントロールできるような力を育みます。
 - ・遊びや生活を通してみんなで過ごすことが心地よい、楽しいと感じられるように集団生活の決まりを知り、してよいこといけないことのきまりを守れるようにします。
 - ・「早寝、早起き、朝ごはん、朝ウンチ」が習慣となり、自分のことは自分でする幼児を育てます。
 - ・身の回りのことに興味、関心をもち、主体的に関わり、自分なりに考えたり表現したりする幼児を育てます。
 - ・大規模工事できれいになった既存棟に3学級を集約し、安全な生活や自然な交流による豊かな関り、プレイルームや遊具を活用した遊びの充実を図り、協働性を育みます。
- 幼児の学び（遊び）の充実に向け、ICTの活用を進めます。
 - ・幼児の実態に合わせた遊びの中でICTの活用を進めます。
 - ・幼児が将来、ICTを有効に活用するために必要な力や情報モラルを、教職員、保護者が学び共有する機会を設けます。